

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	京都市横大路福祉工場
住所	京都市伏見区横大路千両松447
電話番号	075-621-7075

事業所番号	2610900835
管理者名	甲斐現新
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		80 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(III) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		0 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	175 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和5年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	67,529	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	10,655	人	利用者の1日の平均労働時間数	6	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	--------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	75,833,332	円	利用者に支払った賃金総額	75,833,332	円	収支	0	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---	---

前々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	79,327,818	円	利用者に支払った賃金総額	79,327,818	円	収支	0	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---	---

前年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	79,329,385	円	利用者に支払った賃金総額	79,329,385	円	収支	0	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和5年度）における取組（全体表「(Ⅲ)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

<p>①免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度</p> <p>◎免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>②利用者を職員として登用する制度</p> <p>◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input type="checkbox"/></p>	<p>③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律</p> <p>在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>
<p>④フレックスタイム制に係る労働条件</p> <p>◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/></p>	<p>⑤短時間勤務に係る労働条件</p> <p>◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>⑥時差出勤制度に係る労働条件</p> <p>◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/></p>
<p>⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度</p> <p>◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>⑧傷病休暇等の取得に関する事項</p> <p>◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和5年度）における取組（全体表「(Ⅳ)支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

<p>①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会</p> <p>◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※研修名 福祉サービス苦情解決事業相談研修会 研修講師 上村 正晴 氏、他 実施日/受講者数 4月 26日 9人</p>	<p>②研修、学会等又は学会誌等において発表</p> <p>◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input type="checkbox"/></p> <p>※研修、学会等名 実施日 月 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ</p>	<p>③視察・実習の実施又は受け入れ</p> <p>◎先進的事業所の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※先進的事業者名 実施日/参加者数 月 日 人 ※他の事業所名 株式会社MOON 実施日/参加者数 3月 13日 5人</p>
<p>④販路拡大の商談会等への参加</p> <p>◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している <input type="checkbox"/></p> <p>※商談会等名 主催者名 日時 月 日 内容</p>	<p>⑤職員の人事評価制度</p> <p>◎職員の人事評価制度を整備している <input type="checkbox"/></p> <p>◎当該人事評価制度を周知している <input type="checkbox"/></p> <p>人事評価制度の制定日 年 月 日 人事評価制度の対象職員数 名 うち昇給・昇格を行った者 名 当該人事評価制度の周知方法</p>	<p>⑥ピアサポーターの配置</p> <p>◎ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/></p> <p>◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している <input type="checkbox"/></p> <p>※配置期間 月 日～ 月 日 就業時間 職務内容</p>
<p>⑦第三者評価</p> <p>◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/></p> <p>※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関</p>	<p>⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等</p> <p>◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/></p> <p>※認証を受けた日 月 日 規格等の内容</p>	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/>
※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	京都市横大路福祉工場	事業所番号	2610900835
住 所	京都市伏見区横大路千両松町 4 4 7	管理者名	甲斐 現新
電話番号	0 7 5 - 6 2 1 - 7 0 7 5	対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>令和5年5月29日（月） 京都教育大学附属支援学校（3名）</p> <p>当日は京都教育大学附属支援学校の生徒と保護者、及び先生が横大路福祉工場の作業内容について、見学者コース並びに作業場に直接入って作業の様子等を見ていただき、就労の場としての横大路福祉工場について説明した。</p>	<p><活動の様子></p> <p>横大路福祉工場には、このような見学以外にも小学生の環境学習や京都市内各所からのエコバスツアー、他都市のリサイクル企業及び環境行政にまつわる自治体、環境問題に取り組んでおられる市議会議員の皆さまや外国の学生の見学など、幅広い分野から、多数の方々が環境問題やリサイクル事情を学ぶ目的で来場される。その他にも、心理学を学び、将来は臨床心理士の資格取得を目指す大学生等、現場を視察し、直接支援員と意見交換をすることで、より障害者福祉分野の学びを深めたいという目的での視察研修等も受け入れている。</p> <p>このような活動を通じ、環境問題への理解を深めてもらうと同時に、ここで働く障害者が「労働者」として社会に貢献していること広く認知してもらえよう、今後も継続して見学者を受け入れたい。</p> <p>そのため、今後も横大路福祉工場の社会的意義や魅力をより多くの皆様に認知していただけるよう、広報力・情報発信力が高められるよう図っていきたい。</p>
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none">横大路福祉工場の作業を見ていただくことで、将来の進路の選択肢の幅を広げてもらう。資源リサイクルに関心を持っていただき、限りある資源の有効活用等についての学びの場を提供する。リサイクル意識の向上を図るとともに、現場の課題等について理解を深めてもらう。	
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">障害者の就労の場を直接見る機会を得て、仕事に対するイメージを体感でき、横大路福祉工場の仕事に興味を持っていた。見学者が作業場に入って直接作業の様子を見たことで、横大路福祉工場の従業員も自分たちの仕事が社会とつながっているという自覚を持つことでき、今後の仕事の励みになる。	

連携先の企業等の意見または評価

<p>【連携した取り組みに対する評価】</p> <p>京都市では、本市の環境行政の基本計画（京都市循環型社会推進基本計画）において、ごみの減量・リユースの推進とともに、「質の高い資源循環に向けた分別・リサイクルの推進」を重要施策として掲げており、横大路福祉工場は、本市が収集する資源ごみ（缶・びん・ペットボトル）のリサイクルに重要な役割を担う施設として運営されています。</p> <p>本市の重要施策である更なるごみの減量や円滑なリサイクルの実現により、循環型社会の形成を促進していくためには、環境問題への市民の御理解を深めることにより消費行動等の変容を促す、環境教育の取組が必要です。</p> <p>今回の地域連携活動のように、幅広い分野から多くの施設見学者を受入れ、リサイクルの第一線である実際の作業を目にする機会を提供することは、本市の施策を推進するうえで環境教育の効果が高く、優れた活動であると考えております。また昨年度、今後の連携強化に向けた課題として挙げさせていただいた「環境学習施設（さすてな京都）との連携強化」についても取り組んでいただき、さらなる向上が見られます。</p> <p>【今後の連携強化に向けた課題】</p> <p>見学者の受入れ拡大に向けて今後さらなる広報力・情報発信の向上を期待しています。</p>			
連携先企業名	京都市環境政策局（施設管理課）	担当者名	吉野

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	京都市横大路福祉工場
住所	京都市伏見区横大路千両松町447
電話番号	075-621-7075

事業所番号	2610900835
管理者名	甲斐 現新
対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>【活動場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内 <p>【実施日程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月10日～約1年間（週2回程度） 	<p><活動の様子></p> <p>令和6年3月8日に実施された運転技能講習実技試験の様子</p>  
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の作業で圧縮したペットボトルをフォークリフトで運搬する業務があり、利用者にもその役割を担ってもらっている。そのため、業務に必要なフォークリフト運転技能講習修了証を所持してもらう必要があり、運転技能講習に参加する前の事前対策として学科の勉強や運転訓練等を行った。 	
<p><成果></p> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都労働基準協会が令和6年3月に実施したフォークリフト運転技能講習に参加し、学科及び、実技試験に合格。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続した安全教育の実施。 	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>この運転技能講習への参加はご本人の入職時の希望に沿ったものでした。そして、その望みをかなえるべく約1年間サポートしました。最初のころは学科の勉強を中心に進め、徐々に運転の練習等も取り入れながら1年間、計画的に進めました。ご本人様の希望とはいえ、障害当事者にとっては難易度が高く、そう簡単なものではありません。最初は強い不安と緊張がうかがえましたが、最後までやり遂げ、かつ講習を修了したことは大きな自信となったことでしょう。そして、ご本人様はすでに新たな目標を設定しています。今後もその目標に向かって一步一步着実に前進できるよう、支援していきたいと思えます。</p>	
連携先企業（担当者）	京都市横大路福祉工場 管理者 甲斐現新

利用者からの意見・評価

<p>ずっと夢にまで出たフォークリフトの免許を今年、とることができました。フォークリフト運転技能講習の学科や実技、凄く緊張や不安がありましたが、この職場の職員さんのTさんやDさん、そしてKさんなどが、色々サポートやもっと上手くなるポイントなどを分かりやすく、かつ丁寧に教えて下さったおかげで今の私があります。今でも感謝の気持ちでいっぱいです。これからも事故に気を付けながら乗り続けていきます。</p>
--